

野菜花き 7月上旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 7月3日、4日、5日、8日、9日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場は、着果期であった。前回調査で発生が多かった、アザミウマ類、アブラムシ類の寄生頭数は、防除の実施により少なくなっていた。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫終期であった。輪紋病が急増し、発病株率が高かった（図1）。また、前回調査に引き続き、オンシツコナジラミの寄生株率が多かった。



図1 トマト輪紋病（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。うどんこ病の発病株率、発病葉率は前回調査よりも高くなっていた。アザミウマ類の寄生がみられたが、少発生であった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期であった。アザミウマ類の寄生がみられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

3 いちご

南牧村の巡回ほ場では、前回調査に引き続き、アザミウマ類の発生がやや多かった。また、スポット的にハダニ類の発生がみられた。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。菌核病、黒腐病の発生がみられたが、わずかであった。害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。ほぼ全株で、ウワバ類その他チョウ目害虫の被害が確認され、被害株率が高かった。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は結球期であった。チョウ目害虫の被害がやや多かった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は結球期であった。ウワバ類の寄生がみられ、チョウ目害虫の被害が少発生であった。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場では結球期であった。チョウ目害虫の被害が少発生であった。病害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場では生育中（一部出蕾）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は収穫期であった。病虫害の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は未定植であった。

小諸市の巡回ほ場は収穫終了しており、近隣ほ場での作付も確認できなかった。

小海町の巡回ほ場は収穫期であった。ピシウム腐敗病が少発生であった。害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は収穫期であった。ピシウム腐敗病、べと病の発生がわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は収穫期であった。すそ枯病、べと病が少発生であった（図2）。害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は結球期であった。斑点細菌病が少発生であった（外葉のみ）。害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。外葉に斑点細菌病の発生がわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は収穫期であった。すそ枯病の発生がわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。

飯綱町の巡回ほ場は収穫期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がわずかにみられた。害虫の発生はみられなかった。



図2 レタスべと病（上田市）

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）では立茎期であった。全株にアザミウマ類の寄生が確認された。病害の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は茎葉繁茂期であった。アザミウマ類が中発生であった。また、チョウ目害虫（ヨトウ類）の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（施設栽培）は立茎期であった。茎枯病が少発生であった。また、全株にアザミウマ類の寄生が確認された。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は茎葉繁茂期であった。茎枯病の発生がみられたが少発生であった。また、全株にアザミウマ類の寄生が確認された。

9 ながいも

長野市の巡回ほ場は萌芽期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場では生育中であった。疫病の発生、アブラムシ類の寄生はみられなかった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、着蕾期（草丈 110 cm）であった。ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられた。その他の病害虫の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 7月5日、8日、9日、10日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では収穫中であり、伊那市及び安曇野市の巡回ほ場（いずれもジュース用、露地栽培）では着果中であった。松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫が終了していた。すべてのほ場で果実及び葉に灰色かび病（いずれも少発生）がみられた。また、南箕輪村及び安曇野市の巡回ほ場では、葉にオンシツコナジラミ（いずれも少発生）、伊那市及び安曇野市の巡回ほ場では、アブラムシ類（いずれも少発生）、オオタバコガ（少発生・中発生）の寄生がみられた（図3）。安曇野市の巡回ほ場では、花にアザミウマ類の寄生がみられたほか、果実に白ぶくれ症果（少発生）がみられた。



図3 オオタバコガ（安曇野市）

2 きゅうり

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫中であった。花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫が終了していた。

3 すいか

飯島町、松本市の巡回ほ場ではいずれも収穫前であった。松本市の巡回ほ場では、アブラムシ類（少発生）の寄生がみられたが、飯島町のほ場では病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市洗馬の巡回ほ場（前回から場所移動）では結球始期、朝日村の巡回ほ場（前回から場所移動）では収穫前であった。塩尻市のほ場では、外葉にアザミウマ類及びウワバ類（いずれも少発生）の寄生、チョウ目害虫による食害（少発生）がみられた。朝日村のほ場では、外葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられた。

茅野市の巡回ほ場では、結球期であった。外葉に黒斑細菌病（少発生）がみられたほか、コナガ及びウワバ類の寄生およびチョウ目害虫による食害痕がみられた（いずれも少発生）。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では、収穫が終了していた。

6 はくさい

木祖村の巡回ほ場では、収穫前であった。病害虫の発生はみられなかった。朝日村の巡回ほ場では、収穫が終了していた。

7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場では結球期、塩尻市片丘の巡回ほ場では収穫前、朝日村の巡回ほ場では生育中であった。塩尻市洗馬の巡回ほ場では、外葉に斑点細菌病（多発生）がみられ、塩尻市片丘の巡回ほ場では外葉に斑点細菌病（中発生）がみられたほか、軟腐病（少発生）による株全体の腐敗がみられた（図4）。朝日村の巡回ほ場では、病害虫の発生はみられなかった。



図4 レタス軟腐病（塩尻市）

8 セルリー

原村の巡回ほ場(前回から場所移動)では収穫中であり、軟腐病(少発生)による株全体の腐敗がみられた(図5)。

9 アスパラガス

飯島町、豊丘村の巡回ほ場ではいずれも茎葉繁茂期、池田町の巡回ほ場では立茎中であつた。飯島町の巡回ほ場では、茎枯病(中発生)の発生がみられた。また、いずれの巡回ほ場でも、払落し調査によりアザミウマ類(少~中発生)が確認されたほか、豊丘村の巡回ほ場ではアブラムシ類(少発生)及びハダニ類(多発生)、池田町の巡回ほ場ではアブラムシ類(少発生)の寄生がみられた。



図5 セルリー軟腐病(原村)

10 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場では5.5~6.0葉、豊丘村及び山形村の巡回ほ場では5.0~5.5葉であつた。いずれのほ場でも黒斑病(少発生・中発生・少発生)、さび病(中発生・多発生・少発生)、べと病(いずれも少発生)の発生がみられた。虫害では、いずれのほ場でもアザミウマ類(中発生・甚発生・甚発生)、ネギハモグリバエ(少発生・多発生・多発生)の寄生がみられた。

11 ながいも

山形村の巡回ほ場では、未定植であつた。

12 きく

富士見町の巡回ほ場では、着蕾期(草丈105cm)であつた。アブラムシ類(少発生)の寄生がみられた。